

薬理学Ⅲ

Pharmacology Ⅲ

薬：E1-03312MY

医療科目 3年／前期 1.5単位 必修科目

科目責任者 山口 憲孝(細胞分子薬理学研究室)

■教育目的

薬理学Ⅰ・Ⅱで学んだ神経系・免疫系・オータコイド・ホルモン関連薬を基盤として、各種疾患に対する治療薬に関して臓器・組織毎に総合的に俯瞰するとともに、最新の治療薬の作用機序と有効性・安全性に関してより広く深い知識へと発展させる。マルチメディアを活用した学習システムを導入し、さらに、課題などを通じ自ら能力を高める意識を醸成することによって、薬理学の応用力を身に付け、薬の専門家としての資質の基盤を形成する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①②③】

■学習到達目標

1. 薬物の作用機序及び個々の薬物の特徴が理解できる。(知識)
2. 治療薬の変遷及び新規承認薬の新規性が理解できる。(知識)
3. 薬理学的能力を研究・開発及び臨床に応用できる。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：テキストの該当部分に予め目を通しておく(20分以上)。

復習：テキスト、参考書、関連問題(薬剤師国家試験・定期試験)等を活用し、知識を整理する(30分以上)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬	D-2-13-2
2	//	排尿障害・頻尿治療薬	D-2-14-2
3	循環器系に作用する薬	心不全治療薬	D-2-8-2
4	//	抗不整脈薬、虚血性心疾患治療薬	D-2-8-2
5	//	末梢血管拡張薬	D-2-8-2
6	//	高血圧・低血圧治療薬	D-2-8-2
7	呼吸器系に作用する薬	呼吸興奮薬、鎮咳・去痰薬	D-2-12-2
8	//	気管支喘息治療薬	D-2-12-2
9	消化器系に作用する薬	健胃消化薬、消化性潰瘍治療薬	D-2-11-3
10	//	胃腸機能改善薬、鎮痙薬、催吐・制吐薬	D-2-11-3
11	//	瀉下・止瀉薬、肝・胆・膵臓機能改善薬	D-2-11-3
12	生殖器系に作用する薬	子宮収縮・弛緩薬、避妊薬	D-2-14-2
13	//	性機能不全治療薬	D-2-14-2
14	血液・造血器系に作用する薬	貧血治療薬	D-2-9-2
15	//	止血薬、血液凝固阻害薬、血栓溶解薬	D-2-9-2

■授業分担者

山口 憲孝

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題へのフィードバック：講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。
成績評価方法：学期末試験成績(100%)で評価する。